

2023年 第8回 ショートハンドチャレンジ 1・2・3 レース 帆走指示書 (Sailing Instructions)

- 【開催日】 2023年5月13日(土)
【開催地】 小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ周辺海域
【共催】 公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎
公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 三浦オーシャンセーリングクラブ
【運営】 第8回 ショートハンドチャレンジ1・2・3 実行委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions : SI) の略語表記の意味

[NP] : この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している。

[SP] : レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、帆走指示書に記載される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1、A5 及び A10 を変更している

1 規則

- 1.1 本レースには、『セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) 』に定義された規則が適用される。レース中(準備信号～フィニッシュ)は、オートヘルム、オートパイロット、及び電動ウインチの使用を禁止する。
- 1.2 外洋特別規定 2022-2023 付則 B インショアレース用特別規定および OSR 国内規定。
参照 URL : http://jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2022_aB_J_0224.pdf

2 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、SI 3「選手とのコミュニケーション」に準じて行う。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 オンライン公式掲示板
公式掲示板(WEB) : <https://yacht-race.jp/123/document.html>
- 3.2 レース本部設置場所
所在地 : 三崎マリン (神奈川県三浦市三崎町小網代 1003 番地 6) 2F
期間 : 2023年5月13日(土) 07:00 ~ 16:00
- 3.3 連絡先
① 電話 : 090-2341-3140
② メールアドレス : 2023shc123@misaki-ocean.jp

③ その他通信設備： 国際 VHF72ch を常時ワッチしている。

- 3.4 レース当日、8時からレース終了までの帆走に関わる通告は、海上で行う。
- 3.5 通告を海上で行う場合は、本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。
- 3.6 参加者とレース委員会間の通信手段は、携帯電話とする。
- 3.7 レース中の艇の通信制限は行わない。但し、RRS41 を変更するものではない。

4 行動規範

[DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

6 レース日程

5月13日(土) チェックイン : 09:25~09:45
スタート予告信号 : 09:55
レース・タイム・リミット : 15:00

レース予備日は5月20日(土)とする。

7 クラス旗

- 7.1 [DP] [NP] クラスおよび識別リボンは以下とする。

クラス	識別リボン
1: シングルハンドクラス	イエロー
2: ダブルハンドクラス	ピンク
3: トリプルハンドクラス	グリーン

参加艇は、識別リボンを、艇後部の視認しやすい位置(デッキから1.5m以上の高さ)に掲揚すること。

- 7.2 クラス

各ディビジョンともに、参加艇数によってはクラス分けする場合がある。

クラス分けした場合、クラス毎の識別リボンは設けない

- 7.3 リコールナンバー

セールナンバーの無い艇及び JSAF に登録されているセールナンバーと異なるセールナンバーを使用する艇については、リコールナンバーをバウパルピット付近の両舷に付けなくてはならない。

- 7.4 クラス識別リボン、リコールナンバー（必要な場合）は、郵送する。

郵送先住所/氏名は、提出書類 出艇申告書（書式2）に記載すること。

8 レース・エリア

小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ周辺海域とする。

9 コース

9.1 小網代沖(網代崎灯浮標付近) スタート ⇒ 城ヶ島沖南西沖ブイ (反時計廻り) ⇒
小網代沖 (網代崎灯浮標付近) フィニッシュ

9.2 公式距離 : 10 マイル

10 マーク

スタート・マークとフィニッシュ・マークは黄色円筒型ブイである。

11 [SP]チェックイン

参加艇は、09:45 までに、L 旗を掲揚した本部船を右側に見て後方から機走もしくは機帆走で通過し、セール番号、乗員数およびライフジャケット着用の確認を受けなければならない。

12 スタート

12.1 レースは RRS26 を用いて、全クラス一斉にスタートする。

12.2 スタート・ラインは、スターボードの端となる本部船のオレンジ旗を掲揚したマストもしくはポールとポートの端のスタート・マークのコース側との間とする。

12.3 スタート信号後 30 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』記録される。

13 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、本部船の青色旗を掲揚したマストもしくはポールとフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

14 コースの短縮

14.1 コースの短縮は、南西沖ブイにて行われる。

14.2 運営船に S 旗を掲揚し、音響信号 (2 声) を発して通告する。この場合、S 旗を掲揚したマストもしくはポールと南西沖ブイとの間をフィニッシュ・ラインとする。

14.3 コース短縮の運営船は、錨泊していない場合がある。

15 ペナルティー方式

RRS44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。

16 レース・タイム・リミット

2023 年 5 月 13 日(土) 15:00 とする。

レース・タイム・リミットまでにフィニッシュできなかった艇は審問なしに DNF とする。(RRS35、A4、A5 の変更)

17 審問要求

- 17.1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して伝える（赤色旗の掲揚を含む）と共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船（コース短縮の場合は S 旗を掲揚した運営船）に告げ、自艇のフィニッシュ後 1 時間以内に所定の審問要求書をレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。
- なお、プロテスト委員会は、もっともな理由がある場合には、その時刻を延長する場合もある。リタイア艇については、本部船への伝達は省略することを許され、リタイア後 1 時間以内に審問要求書をレース本部に提出するものとする。
- 17.2 救済の要求は、所定の審問要求書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後（リタイア艇については、リタイア後）1 時間以内にレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。
- 17.3 審問は原則、対面で開催されるがリモート会議ツールによる参加も可能とする。開始の時間、場所、会議 URL については公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。

18 得点

- 18.1 順位
- SHC123 ハンディキャップを用い、Time-on-Time 方式を適用し順位を決定する。
- 18.2 成績算出における計算式は以下の通りとし、修正時間(CT)の少ない艇を上位とする。
- $$CT(\text{修正時間}) = ET(\text{所要秒}) \times TMF(\text{SHC123 ハンディキャップ})$$
- CT(修正時間)が同一の場合は、TMF(SHC123 ハンディキャップ)の小さい艇を上位とする。

19 レースの成立

各クラスともに、1 艇以上のレース・タイム・リミット内フィニッシュをもって、レース成立とする

20 レースの中止及び延期

- 20.1 悪天候、非常事態宣言・まん延防止等重点措置などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レース前日 18 : 00 までにレース委員会が判断する。
- 20.2 延期する場合は、5 月 20 日(土)とする。
- この場合キャンセルは認めるが、新たなエントリーは受け付けない
- 20.3 中止及び延期の場合は、オンライン公式掲示板（WEB）に告知する。
- 悪天候の際はオンライン公式掲示板（WEB）での開催の有無を確認することを推奨する。

21 安全規定

- 21.1 船舶検査に基づいた装備、備品に加え携帯電話を1台以上、可能であれば国際VHF送受信機を搭載していること。
- 21.2 出艇申告書を提出し、スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に直ちに連絡しなければならない。
- 21.3 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後、レース本部に直ちに帰着申告をしなければならない。
- 21.4 事故報告
人員の負傷、落水、重大な船体やマストなどの損傷を伴う、衝突、座礁、破損などがあった場合、抗議救済の要求の有無に関わらず、日時、場所、関係艇、関係者名、事故状況、連絡先などを記載した事故報告書をメールもしくは書面で、当該艇の責任者がレース本部まで提出すること。
- 21.5 レース参加申込書に記載された携帯電話に加え、予備を搭載することが望ましい。また、充電機能や防水対策についても考慮されたい。ただし緊急時は連絡手段を問わない。

22 インスペクション

事前のインスペクションは行わない。フィニッシュ後の適切なきにレース委員長の判断により、フィニッシュした全艇または任意に選択した艇に対して実施されることがある。

23 運営に用いる船

本部船：「アルカンシェルⅢ」（オセアニス321）、32feetヨット、船体色：白色
外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

運営船：・プリンセスⅡ（油壺ヨットハーバー）、インフレーター、船体色：グレー、
・リビエラリブ（シーボニア）、インフレーター、船体色：グレー
外洋三崎クラブ旗を掲揚する。

24 [DP]支援者船

- 24.1 支援者船の使用については予めレース委員会に申告し、レース委員会より渡されたホワイトのリボンの標識を付けなければならない。
- 24.2 支援者船はレース中の艇を妨害してはならない。

25 賞・表彰式

25.1 賞

- ① 各クラスの優勝、準優勝、3位
- ② クラスでクラス分けをした場合、各クラスの優勝、準優勝、3位。
- ③ クラスの総合優勝、準優勝

※4艇以上参加の場合は3位まで、3艇参加の場合は2位までを表彰する。

※主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

25.2

表彰式

場所： 三崎マリン2階北側

開始時間：16時から

但し、レースの状況に応じて早める場合がある。

26

リスク・ステートメント

26.1

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大、COVID-19 感染などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

26.2

本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

26.3

本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。

26.4

艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させよう万全を尽くさなければならない。

26.5

オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。

26.6

オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。

26.7

レース委員会は、不相当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

27

保険

参加艇は、以下の付保範囲を持つ有効な保険に加入していなければならない。

- ① 賠償責任保険
- ② 必要な人数分の搭乗者傷害保険
- ③ 搜索救助費用保険

28

問い合わせ

28.1

問い合わせ方法

- ① E-mail のみでの対応とする。
- ② 問い合わせ・質問を行う場合、艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きで行うこと。

※問い合わせ・質問の内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

28.2

問い合わせ先

- ① 宛 先 : 第 8 回 ショートハンドチャレンジ 1・2・3 実行委員会
- ② メールアドレス : 2023shc123@misaki-ocean.jp

以上